

【地域活動ノート】

学生ボランティア活動における取組*

——坂戸昭和レトロ祭りの運営による地域おこし——

櫻田かなた**・栗原菜々美**

活動の概要

私たちは、短大生という立場で何が出来るかを考えた。そして、以前から参加していたJOSAI地域連携センターからお知らせされていた、坂戸市で開催される昭和レトロ祭りの運営ボランティアに参加することを決めた。ボランティアの社会人、学生合わせて約60名が会議から当日にかけて参加していた。学生が軸になり会議が進められていった。ステージ、着ぐるみなど様々な担当があり、私たちは、その中の縁日のブースを担当することになった。また、祭りの企画、当日、片付けなどすべてに携わった。

キーワード：ボランティア活動、イベント企画運営、地域おこし、コミュニケーション能力

【ボランティア活動に参加する意義】

私たちは、短期大学に通っており2年という短い学生生活の中で何が出来るか、また就職活動を目前に控える中、「自分達の強みはなんだろうか」「学生時代何を頑張ったと言えるだろうか」と考えたとき、何も成し遂げていないことに気がついた。そこで、地元埼玉県で行われている地域おこしを目的とした、昭和レトロ祭りの運営に参加しようと決めた。

この活動に参加することで、学生ではない地域の方と関わり、コミュニケーション能力の向上、イベント企画運営により貴重な経験を得ることが出来た。

【イベント企画・運営】

今回、私たちが参加した昭和レトロ祭りでは、学生ブースで行われるワークショップのスタッフ担当を募集していたが、会議にも参加し、ワークショップ以外にもステージイベント、縁日、ゆるキャラ、ビール売りなどの屋台運営を一任された。

当日、私たちは縁日のブースを担当した。具体的には、いくつか屋台（わたあめ、射的、グッズ販売）を運営した。少ない人数でどうシフトをまわしていくか、費用の見積もり、景品や道具の用意など細かく会議で話し合った。シフトに関しては受付を作りチケット制にするなど様々な工夫をして本番に挑んだ。

* 本活動および本稿の執筆に際しては、ゼミナールの担当教授である江秀華先生にご指導いただいた。

** 城西短期大学ビジネス総合学科2年生・江ゼミナール

【活動記録 (2024)】

4月23日 (火)	会議 ゲート・出店店舗決め
5月9日 (木)	会議 それぞれの担当決め
5月24日 (金)	会議 担当で必要な道具や景品などを決める
5月29日 (水)	チラシ配り、会議 ファッションコーデ撮影
6月5日 (水)	会議 シフト決めや必要なものの確認
6月13日 (木)	チラシ配り、会議 最終確認
6月22日 (土)	前日準備
6月23日 (日)	当日
6月24日 (月)	片付け

【イベント当日】

当日は、雨予報の中ではあったものの、想定していた来場者数の見込みより多くの5000～1万名の来場者の方が来てくださり、私たちが担当していたわたあめは、家族連れの方々を中心に提供し、完売することが出来た。

【ボランティア活動に参加した感想】

イベントの運営がスムーズにいくように、それぞれのブースで意見を出し企画を練り、取捨選択をしながら挑戦していく姿勢を感じられた。

企画運営では、会議ということもあり内容を詰める際にコミュニケーションの行き詰まりや、お祭り当日は、短時間の中で多くの来場者とコミュニケーションをとり、来場者のみなさんを笑顔に出来るように、時には問題をうまく対処できるような様々な形のコミュニケーションの大切さや、相手を思いあうコミュニケーションを取ることの重要さに、触れることが出来た。

地域おこしをする際の一からの企画準備や、少しでも多くの若者に知ってもらえるように駅でのチラシ配りなど、一つのことにたくさんの方が関わっていて、一致団結し取り組んでいくその姿に、努力が詰まっ
ていて素晴らしかった。

